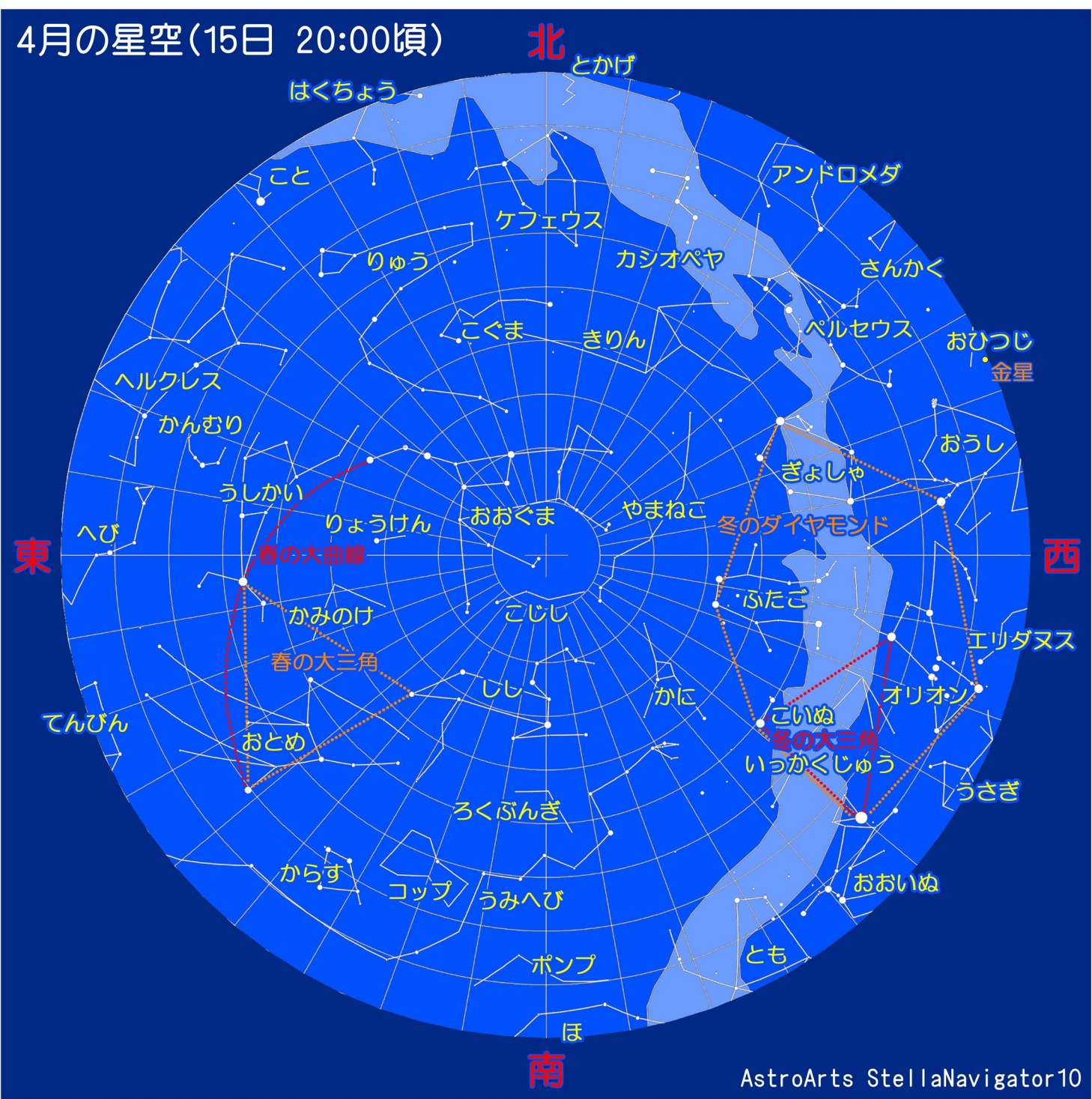




銀河の森天文台 2018年4月みどころ天体情報



今日のイチオシ！

★M51 (銀河)

りょうけん座に位置する銀河で、銀河の渦巻の腕の先に小さな銀河 (NGC5195) を伴っていることから、子持ち銀河という愛称で呼ばれています。この2つの銀河が衝突している影響により、次々と星が生まれています。

月明りのない夜には2つの銀河が写真のようにつながっている様子を見ることができます。



距離：約2100万光年

M51

月

出 没

8日 ● 下弦 00:27 10:06
16日 ● 新月 05:02 18:14
23日 ● 上弦 10:34 00:45
30日 ● 満月 18:27 04:45
天文台から月を見ることができるのは18~30日頃、望遠鏡での見頃は上弦前後です。

距離：約38万km

金星

金星が宵の明星として日没後の西の空に明るく輝いています。9月末まで、日没後の西の空に宵の明星の金星が明るく輝く姿を見ることができます。

太陽からの距離：約1億800万km

M82 (銀河)

おおぐま座に位置する銀河で、低倍率では近くにあるM81と一緒に見ることができます。スターバースト銀河とよばれる、非常に活発な星形成がおこなわれている銀河です。

距離：約1200万光年

M44 (散開星団)

プレセペ星団と呼ばれ、肉眼でも見ることができます。星団である事を発見したのは、あのガリレオ・ガリレイです。アイヌも古くからこの星団を知っておりエルムン・プ(ねずみの倉)と呼んでいました。

距離：約590光年

M3 (球状星団)

明るい見事な球状星団でうしかい座のアルクトゥールスとりょうけん座のコル・カロリの間あたりに位置しています。密集度が高いために、双眼鏡では恒星と区別が付きにくいかもしれません。

距離：約3万3900光年

M97 (惑星状星雲)

ぼんやりと見える丸い光の中に暗い部分が2つありその様子がふくろうの顔を連想させることから「ふくろう星雲」と呼ばれています。北斗七星のひしゃくの底部分の星(β星)のすぐ横に位置しています。

距離：約1800光年

かに座^{イオタ} (重星)

春の空で色の対比が美しい二重星と言えばこの星です。かに座の右のはさみのところで輝く4等星で、黄色と青色の色の対比が印象的です。

距離：約298光年

ちょっとマニア

・かみのけ座24番星 (重星)

5等星と暗く目立たない星ですが、かに座ι (イオタ) 星と並び色の対比が美しい二重星です。黄色と青色の恒星のペアです。

距離：約614光年

その他おすすめ

- ・M53 (球状星団)
- ・M64 (銀河)
- ・M67 (散開星団)
- ・M104 (銀河)
- ・Mel111 (散開星団)
- ・アルギエバ (重星)
- ・コル・カロリ (重星)
- ・プルケリマ (重星)

4・5月の銀河の森天文台カレンダー

4月							5月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7			1	2	3	4	5
8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12
15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19
22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26
29	30						27	28	29	30			

開館時間

14:00~22:30
(4月~9月)

13:00~21:30
(10月~3月)

休館日